

製品名: TMPRSS2 (6M19) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19071**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000
分子量	54kDa

抗原情報

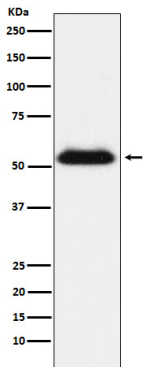
遺伝子名	TMPRSS2
別名	Epitheliasin; PRSS10; TMPRSS2;
遺伝子 ID	7113.0
SwissProt ID	O15393
免疫原	ヒト TMPRSS2 の合成ペプチド

背景

セリンプロテアーゼは、ウイルススパイク糖タンパク質をタンパク質分解的に切断・活性化し、ウイルスと細胞の膜融合を促進します。スパイクタンパク質は合成され、前駆体の中間フォールディング状態に維持されます。タンパク質分解は、安定したウイルスと細胞の結合と膜融合に必要なリフォールディングとエネルギー放出を可能にします。前立腺の正常な生理機能に関連するタンパク質分解カスケードに関与する、細胞膜アンカー型セリンプロテアーゼです (PubMed:25122198)。アンドロゲン誘導性 TMPRSS2 は、プロ肝細胞増殖因子/HGF、プロテアーゼ活性化受容体-2/F2RL1、マトリプターゼ/ST14 など複数の基質を活性化し、前立腺癌細胞の細胞外マトリックスの破壊と転移を誘導します (PubMed:15537383、PubMed:26018085、PubMed:25122198)。さらに、三叉神経ニューロンを活性化し、自発痛と機械的アロディニアの両方に寄与します (類似性による)。

研究分野

画像データ



LNCaP 細胞溶解物における TMPRSS2 発現のウエスタンブロット解析。